

PBX用内線電話機

HI-P7

2線式
多機能電話機

技術基準適合品

認証番号：A01-0750JP



このたびは、PBX用内線電話機「HI-P7」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる場所においてお使いください。

◆ ご使用の前に

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告も含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。（左図の場合は「感電注意」です。）



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。（左図の場合は「分解禁止」です。）



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。（左図の場合は「必ず実施」です。）

- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって生じた損害等の純粹経済損害につきましては、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品の設置には、工事担任者資格を必要とする場合があります。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本取扱説明書は、この電話機をPBXに接続してお使いになることを前提としています。この電話機を外線に直接接続してお使いになる場合は、一部の機能が利用できないときがありますので、販売店に確認ください。
- 取扱説明書をお読みになったあとも、いつでも見られる場所に置いてお使いください。なお、本書を紛失したり損傷して読めなくなった場合は、お買い上げの販売店にてお求めください。
 - 品 名 PBX用内線電話機 HI-P7
 - 取説番号 1A302187

◆ 安全のために必ずお守りください

ご使用にあたっては、次の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

■ 異常時の処置について

⚠ 警告



万一、内部に水などが入った場合は、回線のモジュージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに回線のモジュージャックをはずし、煙がでなくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



万一、内部に異物が入った場合は、回線のモジュージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



万一、電話機を落としたり、ケースを破損した場合は、回線のモジュージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

■ 取り扱いについて

⚠ 警告



電話機に水などが入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。



電話機の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



すきま等から内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。



電話機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



ぬれた手で電話機を操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



回線コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理にまげたり、ねじったりしないでください。重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると回線コードが破損し、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意



電話機の通風口をふさがないでください。通風口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。



移動させる場合は、回線コードなど外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



壁掛け式で使用时は落下に注意してください。けがの原因となることがあります。



回線コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。



携帯電話機を近付けないでください。強い電波のために正常に動作しないことがあります。

■設置場所について

⚠ 注意



直射日光の当たるところや温度のたかいところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



テレビ、ラジオ、アンプ、スピーカボックスなど磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。また、テレビ局、ラジオ局などの近くやノイズを発生する大型溶接機器などの近くに設置しないでください。正常に動作しないことがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。



壁掛け用として取り付ける場合は電話機の重みにより落下しないよう堅固に取り付け・設置してください。けがの原因となることがあります。



製氷倉庫の中など、特に温度の下がるところに置かないでください。正常に動作しないことがあります。

■お手入れについて

⚠ 警告



静電気集塵型化学ぞうきんは絶対に使わないでください。火災・故障の原因となります。



汚れがひどいときはうすい中性洗剤をつけた布をかたくしぼって拭き、その後かわいた布でもう一度、からぶきしてください。洗剤や水をスプレーなどで直接かけるようなことはしないでください。



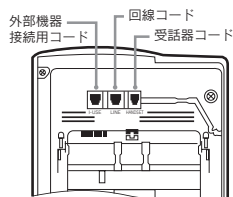
アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因となります。

■コードの接続について

⚠ 警告



電話機裏面の接続コードは販売店が取り付けますので、絶対に接続位置を変えないでください。受話器コードをI-USEジャック、またはLINEジャックに接続すると、電話回線の電圧が受話器に加わり火災・感電・故障の原因となります。



◆ 特 長

2線式のアナログ電話機でありながら、多機能電話機に近い感覚でお使いいただけます。

1 漢字で見やすい表示器

数字とカタカナは半角で、漢字は全角表示で表示します。ダイヤルした番号は40桁まで一括表示します。

4 I-USE端子付き

モデム内蔵パソコンやファクシミリなどの外部機器に接続できます。(I-USEジャック P.11)

2 話し中の相手先に 繰り返し発信

何度かけても話し中の場合は、自動呼び出しを3回まで繰り返します。(レピートダイヤル P.18)

5 通話録音端子付き

テープレコーダを接続して通話を録音できます。(通話録音 P.11)

3 10カ所まで さかのぼってかけ直す

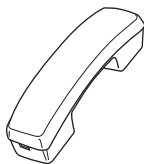
直前にかけたものから10カ所までの電話番号を記憶していますので、さかのぼってかけ直せます。(スタックダイヤル P.17)

6 着信音を 好みの音に設定

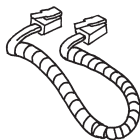
電話がかかってくると、着信音と着信ランプで知らせます。
着信音をお好みの音に設定できます。

◆ 付属品を確認する

電話機本体とともに次の付属品が揃っているか確認してください。
万一足りないものがあつたときは、お買い上げの販売店に連絡してください。



●受話器…………… 1 個



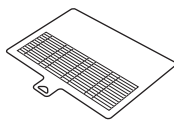
●カールコード…… 1 本



●回線コード…… 1 本



●取扱説明書(本書)… 1 部



●短縮番号カード… 1 枚

◆ 目次

ご使用の前に	2
安全のために必ずお守りください	3
特長	5
付属品を確認する	5
目次	6

はじめに

1 ◆各部のと名称とはたらき	8
●外観	8
●表示器	10
●I-USEジャック	11
●録音ジャック	11
●音量／選択ボタン	11

基本操作

2 ◆電話をかける／受ける	12
●内線にかける(内線発信)	12
●外線にかける(外線発信)	12
●内線からの電話を受ける(内線着信)	12
●外線からの電話を受ける(外線着信)	13
●通話中の相手を待たせる(保留)	14
●通話中の相手を他の内線に転送する(転送)	15

応用操作(その1)

3 ◆便利なかけ方	16
●受話器を置いたままダイヤルする(オンフックダイヤル)	16
●直前にかけた相手にもう一度かけ直す(再呼)	16
●さかのぼってかけ直す(スタックダイヤル)	17
●話し中の相手に自動的にダイヤルする(レピートダイヤル)	18
●ワンタッチでかける(ワンタッチダイヤル)	19
●短縮ダイヤルでかける(短縮ダイヤル)	19
●複数のワンタッチボタンを続けて押してかける(チェーンダイヤル)	20

応用操作(その2)

4 ◆便利な機能	21
●ヘッドセットで通話する(ヘッドセット通話)	21
●操作中にP B信号に切り替える(シグナルチェンジ)	21
●通話中に相手の声をスピーカで聞く(拡声受話)	22
●通話を周りの人と一緒に聞く(拡声通話)	22
●通話中にこちらの声を相手に聞かせない(ミュート)	23
●通話を録音する(通話録音)	23

登録と削除

5 ◆登録する	24
●ワンタッチダイヤルを登録する	24
●短縮ダイヤルを登録する	25
●特定のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを再呼禁止にする	26
●自内線番号を表示させる(自内線番号表示)	26
●呼び出し音量／音色を登録する	27
●ミュートボタンを登録する	28
●スタック機能の有無を登録する	29
◆削除する	30
●ワンタッチダイヤルの内容を削除する	30
●短縮ダイヤルの内容を削除する	31
●スタックダイヤルの内容を削除する	32

その他

6 ◆電話機の取り扱い	33
●表示器のコントラストを調節する	33
●電話機の角度を変える	34
●コールコードをセットする	35
●故障かな?…と思ったら	36
●電話機を廃棄するときは	36

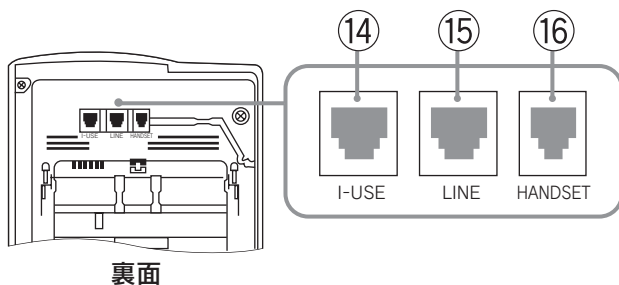
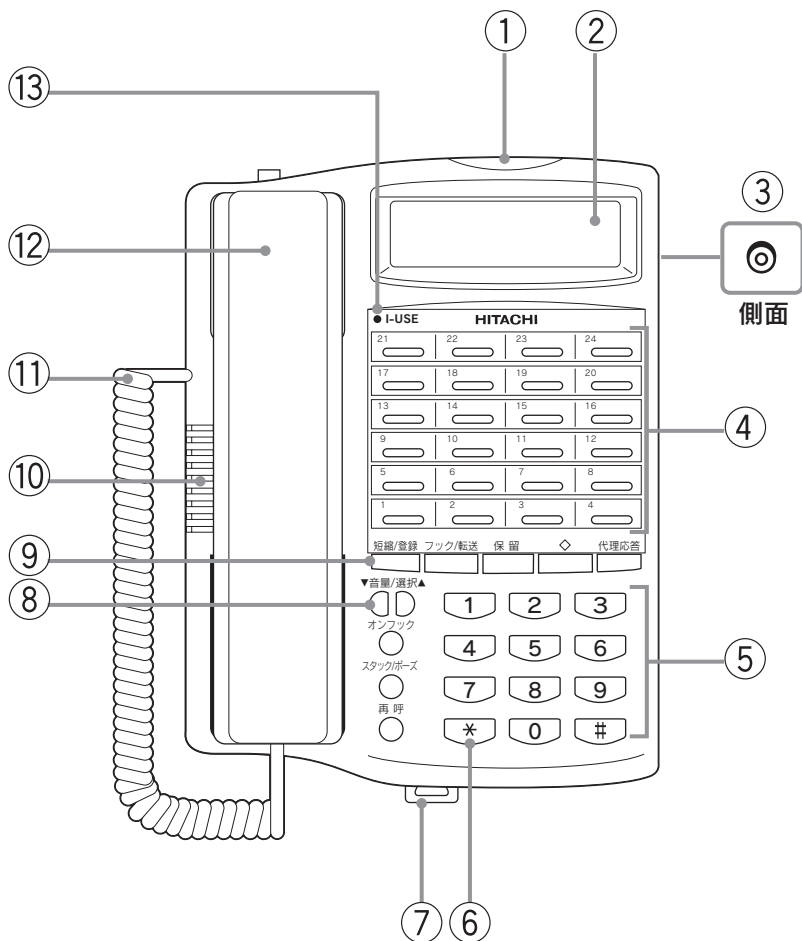
販売店の方へ

7 ◆各種設定	37
●ダイヤル種別を設定する	37
●オートポーズを設定する	38
●ヘッドセット通話／拡声通話を設定する	39
●保留、◇、代理応答ボタンの内容を変更する	40
●特定ボタンの内容を初期化する	42
●すべてのボタンの内容を初期化する	43
●電話機を壁掛け式にする	44
◆仕様	45

◆ 各部の名称とはたらき

1

おしるし



① 着信ランプ(橙)

電話がかかってくると点滅します。

② 表示器

電話番号や通話時間などを表示します。

③ 録音ジャック

通話を録音するときに、テープレコーダを接続します(P.23)。

④ ワンタッチダイヤルボタン(24個)

このボタンに登録した相手先へワンタッチでかけるとき(P.19)に使用します。

⑤ 0～9、*、#(ダイヤル)ボタン

電話番号をダイヤルするときに使用します。

⑥ * (シグナルチェンジ)ボタン

回線がダイヤル回線の場合、操作中にP B信号を出すときに使用します(P.21)。

⑦ 短縮番号カード

短縮番号に登録した相手先名を記入します。

⑧ 〈上から〉

■ 音量/選択ボタン

スピーカ音量、受話音量、呼び出し音量、表示器コントラスト、スタックダイヤルおよび登録時の選択に使用します。

■ オンフックボタン

オンフックダイヤル(P.16)と、拡声受話(P.22)のときに使用します。

■ スタック/ポーズボタン

直前にかけた相手を含む10宛先の中から、選んで電話をかけるときに使用します(P.17)。また、ポーズに登録するときに使用します(P.24)。

■ 再呼ボタン

直前にかけた相手にかけ直すときに使用します(P.16)。

⑨ 〈左から〉

■ 短縮/登録ボタン

短縮ダイヤルでかけるとき(P.19)、各種登録のときに使用します。

■ フック/転送ボタン

フッキングするとき、または通話中の相手を他の内線に転送するときに使用します(P.15)。

■ 保留ボタン

通話中の相手を待たせるときに使用します(P.14)。

■ □ ボタン

外線応答特番(P.13)、またはシステムに応じたボタンとして使用します。

■ 代理応答ボタン

他の電話への着信を、代わりに受けるときに使用します。

⑩ スピーカ

オンフックダイヤル(P.16)時に、相手の声や各種信号音が聞こえます。

⑪ カールコード

⑫ 受話器

相手と通話するときに使用します。
(※誘導コイル付き補聴器対応)

⑬ I-USEランプ

モデム内蔵パソコンなど外部機器を接続してある場合、外部機器が回線を使っているときに点灯します。

⑭ I-USEジャック

モデム内蔵パソコンなどの外部機器を接続します。

⑮ LINEジャック

回線コード(付属品)を接続します。

⑯ HANDSETジャック

受話器(付属品)を接続します。

◆ 各部の名称とはたらき(つづき)

表示器

1
はじめに

■待機時の表示

待機状態では何も表示されません。



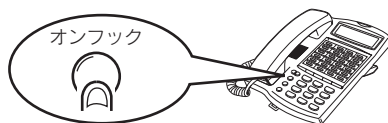
■使用時の表示

オンフックボタンを押すか、または受話器を上げると自内線番号が表示されます。

(自内線番号の表示登録P.26)

※漢字は全角、数字とカタカナは半角表示です。

内線3000 拡声



■モード表示

【 通話モード 】

内線3000 通話

【 ミュートモード 】

内線3000 ミュート

【 拡声受話モード 】

内線3000 拡声

(P.23)

(P.16, 22)

【 通話時間とダイヤルモニタ 】

内線3000 通話 00:01
01234567890123456789
0123

- 59分59秒まで1秒単位で表示します。
- ダイヤルした桁数が20桁を超えると3行目の段に表示します。

お願い

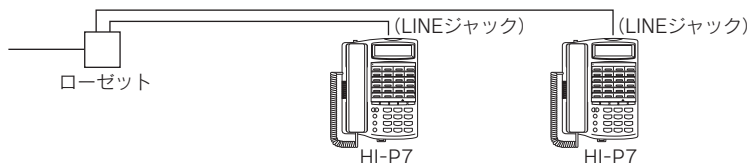
この電話機は発信／着信に関係なく、次のような条件で通話時間を表示しますので目安としてください。

- 受話器を上げてから、またはオンフックボタンを押してから3秒後に表示を開始します。その後7秒(計10秒)経ってもダイヤル操作がないと、引き続き表示を続けます。
- 受話器を上げてから、またはオンフックボタンを押してから10秒間にダイヤル操作をすると、それまでの表示は一旦消えます。その後ダイヤル操作が終了して10秒経過した時点で最初から表示が始まります。

I-USEジャック

HI-P7電話機や外部機器(モデム内蔵パソコン、FAX、他の電話機など)を一台接続できます。

■HI-P7電話機を接続する場合



■外部機器を接続する場合

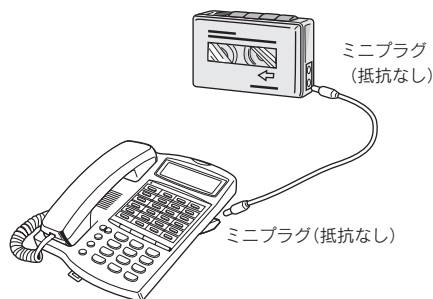


NOTE

- 上記の接続状態にあるときは、機器の同時使用はできません。
- I-USEランプは、もう一方の機器に着信があったときや、その機器が回線を使用中のときに点灯(赤)します。

録音ジャック

テープレコーダを接続して通話を録音できます(P.23)。



音量／選択(▼▲)ボタン

▼音量/選択▲



■受話声量を調節するとき

通話中にボタンを押してください。
(▼：標準 ▲：大)

■呼び出し音量を調節するとき

呼び出し音が鳴っているときにボタンを押してください。
(▼：最低(1)方向へ ▲：最大(8または10)方向へ)

待機中に調節するときは

P.27

■スピーカ音量を調節するとき

スピーカから相手の声が聞こえているときにボタンを押してください。
(▼：最低(1)方向へ ▲：最大(8または10)方向へ)

◆ 電話をかける／受ける

内線にかける

(内線発信)

1



受話器をあげる。
(例3000：自内線番号)

内線3000 通話

2



相手内線番号(例：1000)をダイヤル
する。

内線3000 通話
1000

3



呼び出し音が聞こえる。

内線3000 通話 00:00
1000

外線にかける

(外線発信)

1



受話器をあげる。
(例3000：自内線番号)

内線3000 通話

2



外線発信特番をダイヤルして、
相手番号をダイヤルする。
(例) 0 0249441221

外線発信特番 相手番号

●外線発信特番は販売店に確認してください。

内線3000 通話
00249441221

3



呼び出し音が聞こえる。

内線3000 通話 00:00
00249441221

内線からの電話を受ける

(内線着信)

内線からの電話の着信音はプルプル…プルプル…（2回連続音）です。
着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

1



受話器をあげる。

内線3000 通話

2



通話する。

内線3000 通話 00:00

外線からの電話を受ける

(外線着信)

分散式か中継台式のどちらかになっていますので、販売店に確認してください。

外線からの電話の着信音はプルプルプル…プルプルプル… (3回連続音)です。

【 分散式の場合 】

着信音が鳴ります。

1



受話器をあげる。

内線3000 通話

2



◇ (外線応答) ボタンを押す。

●工場出荷時、◇ボタンは外線応答ボタンに設定してありますが、お客様のシステムによっては別の機能ボタンに設定されている場合もあります。販売店に確認してください。

ワンタッチ26 通話
8

NOTE

夜間になると直通電話機に切り替わるようになっている場合は、受話器を上げるだけでお話できます。直通電話機については販売店に確認してください。

【 中継台式の場合 】

着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

1



受話器をあげる。

●受話器をあげてから応答特番をダイヤルするようになっている場合もあります。販売店に確認してください。

内線3000 通話

2



通話する。

内線3000 通話 00:00

◆ 電話をかける／受ける(つづき)

通話中の相手を待たせる

(保留)

1



通話中に

内線3000 通話 00:25

2

保留



保留 ボタンを押す。

●相手には保留音が流れます。

ワンタッチ25 通話 00:30
H18

3



受話器は外しておく。

内線3000 通話 01:10
H18

【 待たせている相手に戻るとき 】

4

フック/転送



フック/転送 ボタンを押す。

内線3000 通話 01:30
H18H

5



相手と通話する。

内線3000 通話 01:35
H18H

お願い

この機能は交換機によっては利用できない場合があります。販売店に確認してください。

2

基本
操作

通話中の相手を他の内線に転送する

(転送)

2

基本
操作

1



通話中に

内線3000 通話 03:25

2

フック/転送



フック/転送 ボタンを押す。

内線3000 通話 03:26
H

3



転送先の内線番号(例:1000)を
ダイヤルする。

内線3000 通話 03:27
H1000

4



相手が応答したらその旨を伝える。

内線3000 通話 03:30
H1000

5



受話器を戻す。

【 操作を間違えたとき 】

フック/転送 ボタンを押してください。待たせている相手に戻りますので、初めからやり直してください。

【 転送先の相手が話し中のとき 】

フック/転送 ボタンを押してください。待たせている相手に戻ります。

お願い

この機能は交換機によっては利用できない場合があります。販売店に確認してください。

◆ 便利なかけ方

受話器を置いたままダイヤルする

(オンフックダイヤル)

受話器を電話機に置いたままダイヤルすることができます。

1

オンフック



オンフックボタンを押す。

●スピーカからの発信音を確認してください。

内線3000 拡声

2



相手番号をダイヤル(例:1000)する。

内線3000 拡声
1000

3



相手の声がスピーカから聞こえたら
受話器をあげて話す。

内線3000 通話 00:00
1000

☞スピーカ音量を変えるととき(P.11)

直前にかけた相手にもう一度かけ直す

(再呼)

直前(最後)にかけた電話番号を記憶していますので、かけ直すときはダイヤルしなくて済みます。 **参照** P.26 (再呼禁止)

1



受話器をあげる。

内線3000 通話

2



再呼

再呼ボタンを押す。

(例:1000 直前にかけた相手番号)

再呼
1000 通話

3



呼び出し音が聞こえる。

内線3000 通話 00:00
1000

NOTE

- 再呼ボタンを押すと自動的に回線を切断して再発信しますので、一旦受話器を戻す必要はありません。
- 転送のためにフック／転送ボタンを押したあとのダイヤル番号は記憶されません。

3

応用操作(その1)

さかのぼってかけ直す

(スタックダイヤル)

直前(最後)にかけた相手先を含む10宛先(スタック番号: 0~9)までの電話番号を記憶していますので、それを選んでかけることができます。 **登録** P.29

1



受話器をあげる。

内線3000 通話

2

スタック/ポーズ



スタック/ポーズ ボタンを押す。

●初めはスタック番号0の内容を表示します。

スタック0 #:発信 *:レポート
00249441221

3

▼音量/選択▲



音量/選択ボタン で相手先を選択する。

●ダイヤルボタンで直接スタック番号を指定することもできます。
●選択したら発信音を確認してください。

スタック3 #:発信 *:レポート
00249441252

4



ボタン(発信)を押す。

スタック3
00249441252

5



呼び出し音が聞こえる。

内線3000 通話 00:00
00249441252

NOTE

- 工場出荷時、スタック機能は「有」に登録されています。
- スタック機能を「無」にしてあると、操作2.でスタック/ポーズボタンを押しても、スタックダイヤル表示はされません。

3

応用操作(その1)

◆ 便利なかけ方(つづき)

話し中の相手に自動的にダイヤルする (レピートダイヤル)

スタックダイヤル(P.17)に記憶されている相手先にかけた際、何度かけても話し中のときは、自動的に約40秒おきに3回までダイヤルします。 **登録** P.29

1 オンフック



オンフックボタンを押す。

内線3000 拡声

2 スタック/ポーズ



スタック/ポーズ ボタンを押す。
●初めはスタック番号0の内容を表示します。

スタック0 #:発信 *:レピート
00249441221

3 *



***** ボタン(レピート)を押す。

レピート0 #:発信
00249441221

4 ▼音量/選択▲



音量/選択ボタンで相手先を選択する。
●ダイヤルボタンで直接スタック番号を指定することもできます。

レピート3 #:発信
00249441252

5 #



ボタン(発信)を押す。
●自動的にダイヤルされます。

レピート3 拡声*:中断
00249441252

6



相手が応答したら受話器をあげる。
●受話器を置いたままにしておくと、最初の呼び出しを含めて3回まで、回線を一旦切って自動的に発信します。

内線3000 通話 00:00
00249441252

ご注意

レピートダイヤルで電話をかけたときは席を離れないでください。離れている間に相手が応答してこちらの応答を待つ状況になります。なお、この状況で約40秒経つと電話は自動的に切れてしまいます。

NOTE

- 工場出荷時、本機能を有効にするためのスタック機能は「有」に登録(P.29)されています。
- スタック機能を「無」にしてあると、本機能は使用できません。
- スタック機能を「無」にしてあると、操作2.でスタック/ポーズボタンを押しても、スタックダイヤル表示はされません。

ワンタッチでかける

(ワンタッチダイヤル)

よくかける相手先をワンタッチボタンに登録しておけば、かけるときはボタンを押すだけで発信します。 **登録**▶P.24

1



受話器をあげる。

内線3000 通話

2



ワンタッチ ボタン (例: 1) を押す。

(01: 00249441221 が登録されている)

ワンタッチ01 通話
00249441221

3



呼び出し音が聞こえる。

内線3000 通話 00:00
00249441221

短縮ダイヤルでかける

(短縮ダイヤル)

よくかける相手先を短縮ダイヤルに登録しておけば、2桁ダイヤルでかけることができます。24宛先まで登録できます。 **登録**▶P.25

1



受話器をあげる。

内線3000 通話

2



短縮/登録 ボタンを押す。

短縮

3



短縮番号 (例: 03) を押す。

短縮03
00249441252

4



呼び出し音が聞こえる。

内線3000 通話 00:00
00249441252

3

応用操作(その1)

◆ 便利なかけ方(つづき)

複数のワンタッチボタンを続けて押してかける (チェーンダイヤル)

海外など、電話番号が長いようなときは、ワンタッチボタンに電話番号を分けて登録しておけます。かけるときは、そのワンタッチボタンを続けて押します。登録▶P.24

3



受話器をあげる。

内線3000 通話

2



複数の「ワンタッチ」ボタンを続けて押す。

(例)「01」に0077」「02」に024」「03」に9441221」が登録されている

●ワンタッチボタンを押し終えた後に、続けてダイヤルすることもできます。

ワンタッチ03 通話
00770249441221

3



呼び出し音が聞こえる。

内線3000 通話 00:00
00770249441221

NOTE

チェーンダイヤルでかけた番号も再呼(P.16)のメモリに記憶されます。
特定の番号を記憶させない場合は再呼禁止(P.26)操作をしてください。

◆ 便利な機能

ヘッドセットで通話する

(ヘッドセット通話)

受話器の代わりにヘッドセットを使って通話できます。参照 P.38

【 かけるとき 】

1 オンフック



オンフック ボタンを押す。

- ヘッドセットから発信音が聞こえます。

内線3000 通話

2



ダイヤルする。

(例:0-024-944-1221)

内線3000 通話
00249441221

ご注意

- ヘッドセットで通話する前にあらかじめヘッドセットアダプタの切り替えスイッチをヘッドセットに倒しておいてください。

【 受けるとき 】

着信音が鳴ります。

- 着信音は電話機のスピーカから聞こえます。ヘッドセットからは聞こえません。

1 オンフック



オンフック ボタンを押す。

内線3000 通話

2



通話する。

- 受話器での通話に戻る場合
ヘッドセットアダプタの切替スイッチをハンドセット側に倒してください。

内線3000 通話

ご注意

ヘッドセットを接続すれば通話には、受話器は使いませんが、電話機に正しく置いてください。フックスイッチが上がつている状態ではヘッドセットで通話できません。

操作中にPB信号に切り替える

(シグナルチェンジ)

ダイヤル回線 (DP回線) からでも操作の途中にPB信号を出すことができます。これで銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

1



サービスセンターなどに電話をかけ、ガイダンスが聞こえたら

内線3000 通話 00:01
00249441221

2



*** ボタン(シグナルチェンジ)を押す。**

- 「S」表示になり、次の操作からPB信号になります。

内線3000 通話 00:06
00249441221\$

3



暗証番号 (例:7777) などをダイヤルする。

- PB信号から回転ダイヤルに戻すときはフッキング操作をしてください。

内線3000 通話 00:16
00249441221\$7777

4



用件が済んだら受話器を戻す。

- PB状態のままで受話器を戻すと、自動的に回転ダイヤルに戻ります。

4

応用操作(その2)

◆ 便利な機能(つづき)

通話中に相手の声をスピーカで聞く

(拡声受話)

受話器で通話している状態から、相手の声をスピーカに切り替えて聞くことができます。

1



通話中に

内線3000 通話 00:25

2

オンフック



オンフックボタンを押す。

- 相手の声がスピーカから聞こえます。
- 受話器は外しておいても、戻しておいても、どちらでもかまいません。
- 拡声受話の状態でごちから話すことはできません。通話に戻る操作(下記)をしてください。

内線3000 拡声 00:26

【 通話に戻るとき 】

■受話器を外してある場合：オンフックボタンを押す。

■受話器を戻してある場合：受話器を上げる。

通話を周りの人と一緒に聞く

(拡声通話)

受話器で通話中の会話を、周りの人達と一緒に聞くことができます。【登録】P.39

- この機能は拡声受話(上記)とは違い、スピーカで聞いている状態でも受話器で話せます。

1



通話中に

内線3000 通話 00:25

2

オンフック



オンフックボタンを押す。

- 相手の声がスピーカから聞こえます。
- こちらから受話器で話せます。
- 拡声通話を止めるときはオンフックボタンを押してください。

内線3000 通話 00:26

【 ご注意 】

- 受話器とスピーカとのハウリング防止のために、受話器で話しているときは、スピーカから聞こえる相手の声は小さくなるように設計しています。音量を上げることはできません。
- 使用環境によっては、相手の声が途切れるなどの現象が生じます。
- 拡声通話を終って受話器を戻す場合は、オンフックボタンを押して(受話器での通話状態にして)から戻してください。拡声通話状態のまま戻すと、受話器とスピーカのハウリングで相手がまだ受話器を置いていない場合に不快感を与えてしまいます。

通話中にこちらの声を相手に聞かせない

(ミュート)

通話中にこちら側の声を相手に聞こえなくすることができます。こちらには相手の声は聞こえます。登録▶P.28

1



通話中に **ミュート** ボタンを押す。

- こちら側の声は相手に聞こえなくなります。
- もう一度ミュートボタンを押すと元の状態に戻ります。

内線3000 ミュート

通話を録音する

(通話録音)

通話中の相手の声を録音できます。接続▶P.11

1



通話中に

内線3000 通話 00:25

2



録音ボタンを押す。

内線3000 通話 00:26

◆ 登録する

＜登録操作時のご注意＞

- 操作中に30秒間なにも入力しないと、登録モードは自動的に解除されます。
- 操作を間違えたときはオンフックボタンを押して、初めからやり直してください。
- 電話回線が回転ダイヤル式の場合、操作の途中でPB信号に切り替えるときは **[＊]** ボタンを押してください。それ以降はPB信号が出ます。
- 登録を終了（#ボタンでの終了操作も含む）して拡声受話モード、または通話モードに戻ったとき、スピーカや受話器からハウリング（受話器外れを知らせる警告音）が出る場合がありますが、異常ではありません。

ワンタッチダイヤルを登録する

相手先の電話番号をワンタッチダイヤルに登録してください。 **【参照】** P.26（再呼禁止）

- 1 ボタンに登録できる桁数は最大32桁です。なお、フッキングは2桁、ポーズは2桁をそれ以外は1桁を消費します。

1 オンフック



オンフック ボタンを押す。

内線3000 拡声

2 短縮/登録



短縮/登録 ボタンを5秒以上押す。

- 登録モードになります。

登録 * : 次へ# : 終了
1: 内線番号 2: 信号種
3: オートボーズ 4: ワンタッチ

3 4



4 ボタン（ワンタッチ）を押す。

- 初めはワンタッチ01を表示します。

ワンタッチ01 登録: 戻る

→ 4 (ワンタッチボタン)



登録するワンタッチボタンを押す。
(例: 3)

ワンタッチ03 登録: 戻る

5 0



0 (外線発信特番) ボタンを押す。

- 特番は販売店に確認してください。
- ポーズを入れるときは0の次にスタック/ポーズボタンを押してください。表示は「0」の後に「-」が付きます。

ワンタッチ03 登録: 記憶
0

6 1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0

相手番号をダイヤルする。

(例) 0249441252

ワンタッチ03 登録: 記憶
00249441252

7 短縮/登録



短縮/登録 ボタン（記憶）を押す。

- 続けて登録するとき

ワンタッチ03 登録: 戻る
00249441252

8 オンフック



オンフック ボタンを押す。

短縮ダイヤルを登録する

24相手先(短縮番号: 01~24)を登録しておけます。参照▶P.26 (再呼禁止)

- 1 相手先の電話番号の桁数は最大32桁です。なお、フッキングは2桁、ポーズは2桁をそれ以外は1桁を消費します。

1 オンフック


オンフック ボタンを押す。

内線3000 拡声

2 短縮/登録


短縮/登録 ボタンを5秒以上押す。

- 登録モードになります。

登録 * : 次へ #: 終了
1: 内線番号 2: 信号種
3: オートポーズ 4: ワンタッチ

3 

***** ボタン(次へ)を押す。

登録 * : 次へ #: 終了
1: 短縮 2: ワンタッチ削除
3: 短縮削除 4: スタック削除

4 

1 ボタン(短縮)を押す。

- 初めは短縮番号01を表示します。

短縮01

5 短縮/登録


短縮/登録 ボタンを押す。

短縮 登録: 戻る

6 

短縮番号(例: 03)を押す。

- 音量/選択ボタンでも選択できます。
(▼: 短縮01方向へ ▲: 短縮24方向へ)

短縮03

7 

0 ボタン(外線発信特番)を押す。

- 特番は販売店に確認してください。
- ポーズを入れるときは0の次にスタック/ポーズボタンを押してください。表示は「0」の後に「-」が付きます。

短縮03 登録: 記憶
0

8 

相手番号をダイヤルする。

(例)0249441221

短縮03 登録: 記憶
00249441221

9 短縮/登録


短縮/登録 ボタン(記憶)を押す。

短縮03
00249441221

- 続けて登録するとき

10 オンフック


オンフック ボタンを押す。

5

登録と削除

◆ 登録する(つづき)

特定のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを再呼禁止にする (再呼禁止)

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにダイヤル番号を登録する場合、その番号を再呼(P.16)の対象外にできます。(再呼禁止にしてあるワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルとその後続くダイヤル番号は再呼に記憶されません。)

(例：ワンタッチ01に登録するダイヤル番号0101を再呼禁止にする)



ダイヤル番号を入力前に
[再呼] ボタンを押してから、
ダイヤル番号を入力する。

ワンタッチ01
0101

登録：記憶
再呼禁止

自内線番号を表示させる

(自内線番号表示)

受話器を上げたときに自内線番号を表示させることができます。

1

オンフック



[オンフック] ボタンを押す。

内線000000拡声

2

短縮/登録



[短縮/登録] ボタンを5秒以上押す。

●登録モードになります。

登録 *：次へ#：終了
1：内線番号 2：信号種
3：オートボース 4：ワンタッチ

3



[1] ボタン(内線番号)を押す。

内線番号*：記憶#：戻る
000000

4



表示させる内線番号(例：3010)を押す。

内線番号*：記憶#：戻る
3010

5



[*] ボタン(記憶)を押す。

登録 *：次へ#：終了
1：内線番号 2：信号種
3：オートボース 4：ワンタッチ

6

オンフック



[オンフック] ボタンを押す。

NOTE

取り付け時に工事者が内線番号の設定工事をしますが、そのままでは内線番号は表示されません(工場出荷時は“000000”)。この操作をすることで自内線番号が表示されます。電話番号が変更になった場合は、その都度この設定をしてください。

呼び出し音量／音色を登録する

呼び出し音量と音色を変えることができます。

- 呼び出し音量はオフ(無音)、1(最低)～8または10(最高)段階です。
- 音色は1～4種類です。これに周波数番号「00～39」または「01～23」を組み合わせます。

5

登録と削除

1 オンフック



オンフック ボタンを押す。

内線3000 拡声

2 短縮/登録



短縮/登録 ボタンを5秒以上押す。

- 登録モードになります。

登録 * : 次へ# : 終了
1: 短縮 2: ワンタッチ削除
3: オートボース 4: ワンタッチ

3 *



***** ボタン(次へ)を押す。

登録 * : 次へ# : 終了
1: 短縮 2: ワンタッチ削除
3: 短縮削除 4: スタック削除

4 *



***** ボタン(次へ)を押す。

登録 * : 次へ# : 終了
1: 呼出音 2: ミュートボタン
3: オンフック 4: スタック有無

5 1



1 ボタン(呼出音)を押す。

呼出音 * : 記憶# : 次へ
1: 音量5
2: 音色タイプ2

6 1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0



1 (音量)か **2** (音色タイプ)を押す。

呼出音 * : 記憶# : 次へ
1: 音量5
2: 音色タイプ2

音量/選択ボタン を押して音を

選ぶ。

7 ▼音量/選択▲



- 音量の場合 (▼: 無音(オフ)方向へ ▲: 最大(8または10)方向へ)
音量は数値が変わるだけで、実際に音の大きさは変化しません。
- 音色の場合 (▼: 音色タイプ1方向へ ▲: 音色タイプ4方向へ)
音色は実際に音そのものが聞けます。
ここから操作6.に戻れます。

呼出音 * : 記憶# : 次へ
1: 音量5
2: 音色タイプ2

8 *



***** ボタン(記憶)を押す。

呼出音 * : 記憶# : 戻る
周波数番号: 07

9 ▼音量/選択▲



音量/選択ボタン を押して周波数を選ぶ。

- ▼: 周波数番号「00」または「01」(低い)方向へ
- ▲: 周波数番号「39」または「23」(高い)方向へ
- 音色の種類はそのまま、周波数が変わります。

呼出音 * : 記憶# : 戻る
周波数番号: 30

10 *



***** ボタン(記憶)を押す。

登録 * : 次へ# : 終了
1: 呼出音 2: ミュートボタン
3: オンフック 4: スタック有無

11 オンフック



オンフック ボタンを押す。

◆ 登録する(つづき)

ミュートボタンを登録する

(ミュートボタン)

ミュートとは、通話中にこちら側の声を相手に聞こえなくする機能です。

ミュートボタンはワンタッチボタンに登録します。

1 オンフック



オンフック ボタンを押す。

内線3000 拡声

2 短縮/登録



短縮/登録 ボタンを5秒以上押す。

●登録モードになります。

登録 *:次へ#:終了
1:内線番号 2:信号種
3:オートボーズ 4:ワンタッチ

3 *



***** ボタン(次へ)を押す。

登録 *:次へ#:終了
1:短縮 2:ワンタッチ削除
3:短縮削除 4:スタック削除

4 *



***** ボタン(次へ)を押す。

登録 *:次へ#:終了
1:呼出音 2:ミュートボタン
3:オンフック 4:スタック有無

5 2



2 ボタン(ミュートボタン)を押す。

ミュートボタン*:記憶#:戻る

6 (ワンタッチボタン)



ワンタッチボタンを押す。

(例: ワンタッチボタン1)

ミュートボタン*:記憶#:戻る
01

7 *



***** ボタン(記憶)を押す。

登録 *:次へ#:終了
1:呼出音 2:ミュートボタン
3:オンフック 4:スタック有無

8 オンフック



オンフック ボタンを押す。

NOTE

ミュートボタンを解除するとき、そのボタンにワンタッチダイヤルを登録 (P.24) するか、またはワンタッチダイヤルの内容を削除 (P.29) してください。

スタック機能の有無を登録する

スタック機能の「有(使用する)」／「無(使用しない)」を登録します。

5

登録と削除

1

オンフック



オンフック ボタンを押す。

内線3000 拡声

2

短縮/登録



短縮/登録 ボタンを5秒以上押す。

●登録モードになります。

登録 *:次へ#:終了
1:内線番号 2:信号種
3:オートボーズ 4:ワンタッチ

3



***** ボタン(次へ)を押す。

登録 *:次へ#:終了
1:短縮 2:ワンタッチ削除
3:短縮削除 4:スタック削除

4



***** ボタン(次へ)を押す。

登録 *:次へ#:終了
1:呼出音 2:ミュートボタン
3:オンフック 4:スタック有無

5



4 ボタンを押す。

スタック有無*:記憶#:戻る
スタック有 1:有 2:無

6



条件(**1**~**2**)を選ぶ。

スタック有 1:有 2:無

スタック有無*:記憶#:戻る
スタック無 1:有 2:無

7



***** ボタン(記憶)を押す。

登録 *:次へ#:終了
1:呼出音 2:ミュートボタン
3:オンフック 4:スタック有無

8

オンフック



オンフック ボタンを押す。

NOTE

- 工場出荷時、スタック機能は「有」に登録されています。
- スタック機能を「無」にしてあると、レピートダイヤル(P.18)は使用できません。
- スタック機能を「無」にしてあると、スタック/ポーズボタンの機能はポーズ機能だけになります。

◆ 削除する

＜削除操作時のご注意＞

- 操作中に30秒間なにも入力しないと、登録モードは自動的に解除されます。
- 操作を間違えたときはオンフックボタンを押して、初めからやり直してください。
- 電話回線が回転ダイヤル式の場合、操作の途中でPB信号に切り替えるときは **[＊]** ボタンを押してください。それ以降はPB信号が出ます。
- 登録を終了（#ボタンでの終了操作も含む）して拡声受話モード、または通話モードに戻ったとき、スピーカや受話器からハウラ音（受話器外れを知らせる警告音）が出る場合がありますが、異常ではありません。

ワンタッチダイヤルの内容を削除する

- 1 オンフック  **オンフック** ボタンを押す。

内線3000 拡声
- 2 短縮/登録  **短縮/登録** ボタンを5秒以上押す。
●登録モードになります。

登録 *:次へ#:終了
1:内線番号 2:信号種
3:オートボース 4:ワンタッチ
- 3  **[＊]** ボタン(次へ)を押す。

登録 *:次へ#:終了
1:短縮 2:ワンタッチ削除
3:短縮削除4:スタック削除
- 4  **2** ボタン(ワンタッチ削除)を押す。
●ワンタッチボタン1の内容を表示します。

ワンタッチ01 *:削除#:戻る
00249441221
- 5 (ワンタッチボタン)  削除するワンタッチボタンを押す。
(例：ワンタッチボタン3)

ワンタッチ03 *:削除#:戻る
00249441252
- 6  **[＊]** ボタン(削除)を押す。
●続けて削除する場合は操作5.に戻ります。

ワンタッチ03 *:削除#:戻る
- 7 オンフック  **オンフック** ボタンを押す。

短縮ダイヤルの内容を削除する

1 オンフック



オンフック ボタンを押す。

内線3000 拡声

2 短縮/登録



短縮/登録 ボタンを5秒以上押す。

●登録モードになります。

登録 *:次へ#:終了
1:内線番号 2:信号種
3:オートボース 4:ワンタッチ

3 *



***** ボタン(次へ)を押す。

登録 *:次へ#:終了
1:短縮 2:ワンタッチ削除
3:短縮削除 4:スタック削除

4 3



3 ボタン(短縮削除)を押す。

●短縮番号01の内容を表示します。

短縮01 *:削除#:戻る
00249441221

5 短縮/登録



短縮/登録 ボタンを押す。

短縮 *:削除#:戻る
00249441221

6



削除する短縮番号(例:03)を押す。

●音量/選択 ボタンでも選択が可能です。
(▼:短縮01方向へ ▲:短縮24方向へ)

短縮03 *:削除#:戻る
0-0249441252

7 *



***** ボタン(削除)を押す。

●続けて削除する場合

短縮03 *:削除#:戻る

8 オンフック



オンフック ボタンを押す。

5

登録と削除

◆ 削除する(つづき)

スタックダイヤルの内容を削除する

1 オンフック



オンフック ボタンを押す。

内線3000 拡声

2 短縮/登録



短縮/登録 ボタンを5秒以上押す。

●登録モードになります。

登録 *:次へ#:終了
1:内線番号 2:信号種
3:オートボース 4:ワンタッチ

3 *



***** ボタン(次へ)を押す。

登録 *:次へ#:終了
1:短縮 2:ワンタッチ削除
3:短縮削除 4:スタック削除

4 4



4 ボタン(スタック削除)を押す。

●初めはスタック0の内容を表示します。

スタック0 *:削除#:戻る
00249441221

5



削除するスタック番号(例:3)を押す。

●音量/選択 ボタンでも選択できます。
(▼:スタック0 方向へ ▲:スタック9 方向へ)

スタック3 *:削除#:戻る
0-0249441252

6 *



***** ボタン(削除)を押す。

●続けて削除する場合

スタック3 *:削除#:戻る

7 オンフック



オンフック ボタンを押す。

NOTE

- スタック機能を「無」にしてあると(P.29)、操作3. の「4:スタック削除」は表示されません。

◆ 電話機の取り扱い

表示器のコントラストを調節する

音量／選択ボタン(▼▲)でコントラストを調節します。1(薄い)～29(濃い)段階まで調節できます。

1 オンフック



オンフックボタンを押す。

内線3000 拡声

2 短縮/登録



短縮／登録 ボタンを5秒以上押す。

●登録モードになります。

登録 * : 次へ# : 終了
1: 内線番号 2: 信号種
3: オートボース 4: ワンタッチ

3 ▼音量/選択▲



音量／選択ボタンを断続的に押す。

●押しっぱなしでは変わりません。

●▼: 薄い(1)方向へ ▲: 濃い(29)方向へ

登録 * : 次へ# : 終了
1: 内線番号 2: 信号種
3: オートボース 4: ワンタッチ

4 オンフック



オンフック ボタンを押す。

6

その他

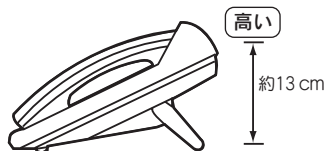
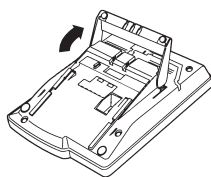
◆ 電話機の取扱い(つづき)

電話機の角度を変える

電話機裏面の角度アダプタは2段階（高い・低い）に変化します。

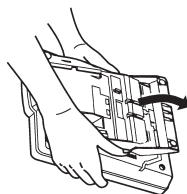
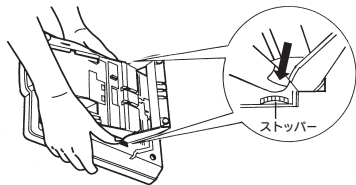
高くする

- ① 電話機を裏返して、角度アダプタを矢印の方向に軽く押し上げてください。
カチッと音がして角度アダプタが固定されます。



低くする

- ① 角度アダプタが高い状態のまま、電話機を裏返して、図のように傾け、角度アダプタのストッパー（2箇所）を親指で押し下げてください。
- ② ストッパーが外れ、角度アダプタが矢印の方向に倒れます。

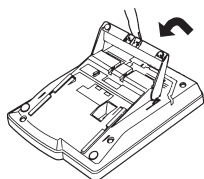


お願い

- 低くするときは、この方法以外にストッパーを外すことはできません。無理な力を加えないでください。ストッパーが破損する原因になります。

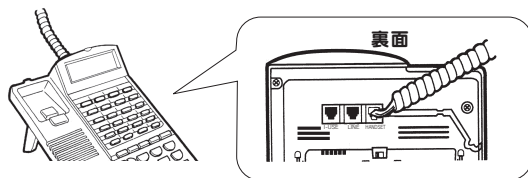
角度を高くするとき

角度アダプタを矢印の方向に起こしてください。カチッと音がして角度アダプタが高い位置に固定されます。



カールコードをセットする

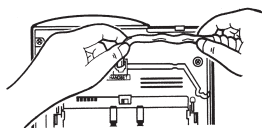
販売店が電話機を設置した段階では、受話器を上げたときにカールコードは電話機の背面から出易いようになっています。



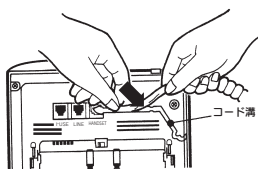
カールコードを電話機の左側から出すときは図のようにセットしてください。

カールコードを左側から出すとき

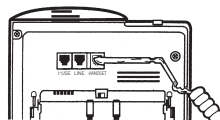
①コードを伸ばしてよじれをなくす。(約3カール分)



②コードを溝に入れる。

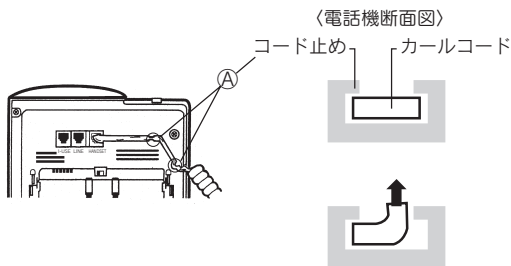


③完了



カールコードを外すとき

コード止めて押さえられている部分 (A) のコードを起こしてから、引き出してください。無理に引っ張ると被覆がやぶれ、そのままお使いになっていると感電・故障の原因となります。



警告

接続コードは販売店が取り付けますので、絶対に接続位置を変えないでください。誤って受話器のコードをI-USEやLINEに接続すると、回線の電圧が受話器に加わり火災・感電・故障の原因となります。

6

その他

◆ 電話機の取扱い(つづき)

故障かな?…と思ったら

動作がおかしいと思われたときは、修理を依頼される前に次の点を確認してください。それでも直らない場合はお買い上げいただいた販売店へ連絡してください。

現象	確認箇所
受話器を上げて何も聞こえない。	● 回線コードが外れていませんか。 ● 受話器のコードが外れていませんか。 ● ブランチ接続の場合、一方の機器が使用中か、または受話器が外れていませんか。
受話器を上げると“ツー”という発信音は聞こえるが相手につながらない。	● 正しい発信操作をしていますか。 ● 回線種類(DP: 20PPS)/PB)が正しく設定されていますか(P.37)。
ワンタッチダイヤルでかからない。	● ワンタッチダイヤルボタンに相手先が登録されていますか(P.24)。
その他	● 10分以上待つてから受話器をあげてください。その後、裏面のLINEジャックに接続してある回線コードを一旦外し、約1分位待つてから差し込んでください。



電話機の内部には、お客様が直すことのできるような部品はありませんので、絶対に電話機のケースを開けないでください。けがの原因となります。なおケースを開けた場合は、保証期間中であっても有料修理になることがあります。

電話機を廃棄するときは

この電話機は回路の一部にはんだを、ケースにはPS材やABS樹脂を使っていますので、廃棄するときは環境保護と再資源化を考慮して分別廃棄にご協力をお願いします。



この電話機は電解コンデンサを使っていますので火に投げ込まないでください。破裂したりして危険です。

◆ 各種設定 [販売店の方へ]

＜お客様へのお願い＞

この各種設定の内容は、HI-P7電話機を設定する販売店向けの説明です。
販売店の方が、構内交換機の条件に合わせて設定しますので、お客様は絶対に操作しないでください。

＜販売店の方へ＞

- 回線コードを接続した状態で操作してください。回線コードが外れていると設定できません。
- 操作を間違えたときは、オンフックボタンを押して、初めからやり直してください。

ダイヤル種別を設定する

1 オンフック


オンフック ボタンを押す。

内線3000 拡声

2 短縮/登録


短縮/登録 ボタンを5秒以上押す。
● 登録モードになります。

登録 * : 次へ# : 終了
1 : 内線番号 2 : 信号種
3 : オートボース 4 : ワンタッチ

3 

2 ボタン(信号種)を押す。

信号種 * : 記憶# : 戻る
パルス 1 : パルス 2 : トーン

4 

1 (パルス(DP : 20PPS))か
2 (トーン(PB))を押す。

信号種 * : 記憶# : 戻る
パルス 1 : パルス 2 : トーン

5 

***** ボタン(記憶)を押す。

登録 * : 次へ# : 終了
1 : 内線番号 2 : 信号種
3 : オートボース 4 : ワンタッチ

6 オンフック


オンフック ボタンを押す。

7

販売店の方へ

◆ 各種設定[販売店の方へ] (つづき)

オートポーズを設定する

ここで登録した番号が、ダイヤルした番号の先頭にあると、その後には自動的にポーズが入ります。

- 番号は2種類設定できます。(例：09「0：外線発信特番」「9：専用線発信特番」)
- 時間は1秒、2秒、3秒から選択です。

1 オンフック



オンフック ボタンを押す。

内線3000 拡声

2 短縮/登録



短縮/登録 ボタンを5秒以上押す。

- 登録モードになります。

登録 *：次へ#：終了
1：内線番号 2：信号種
3：オートポーズ 4：ワタツチ

3



3 ボタン(オートポーズ)を押す。

- 工場出荷時は「00」になっています。

番号 *：記憶#：次へ
00

4



オートポーズ番号 (例：0と9) を指定する。

番号 *：記憶#：次へ
09

5



***** ボタン(記憶)を押す。

時間 *：記憶#：戻る
1 1:1秒 2:2秒 3:3秒

6



時間 (例：2：2秒) を選ぶ。

- 工場出荷時は「1：1秒」になっています。

時間 *：記憶#：戻る
2 1:1秒 2:2秒 3:3秒

7



***** ボタン(記憶)を押す。

登録 *：次へ#：終了
1：内線番号 2：信号種
3：オートポーズ 4：ワタツチ

8 オンフック



オンフック ボタンを押す。

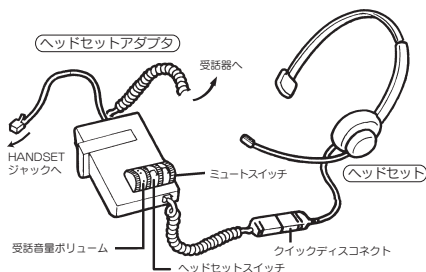
ヘッドセット通話／拡声通話を設定する

ヘッドセット通話 (P.21) か、または拡声通話 (P.22) を利用するかをあらかじめ設定してください。

1	オンフック ○	オンフック ボタンを押す。	内線3000 拡声
2	短縮/登録 —	短縮／登録 ボタンを5秒以上押す。 ●登録モードになります。	登録 *: 次へ#: 終了 1: 内線番号 2: 信号種 3: オートボース 4: ワンタッチ
3	* *	* ボタン(次へ)を押す。	登録 *: 次へ#: 終了 1: 短縮 2: ワンタッチ削除 3: 短縮削除 4: スタック削除
4	* *	* ボタン(次へ)を押す。	登録 *: 次へ#: 終了 1: 呼出音 2: ミュートボタン 3: オンフック 4: スタック有無
5	3 3	3 ボタン(オンフック)を押す。 ●現在の設定内容が表示されます。	オンフック *: 記憶#: 戻る ヘッドセット 無 1: 有 2: 無 拡声通話 無 3: 有 4: 無
6	1 4	条件(1～4)を選ぶ。 ヘッドセット 1: 有 2: 無 拡声通話 3: 有 4: 無	オンフック *: 記憶#: 戻る ヘッドセット 有 1: 有 2: 無 拡声通話 無 3: 有 4: 無
7	* *	* ボタン(記憶)を押す。	登録 *: 次へ#: 終了 1: 呼出音 2: ミュートボタン 3: オンフック 4: スタック有無
8	オンフック ○	オンフック ボタンを押す。	

図は代表例です。

HI-P7の受話器仕様を参考にして適した機器を選んでください。



受話器の仕様	項目	
	受話器側	送話器側
種類	ダイナミック レシーバ	エレクトレット コンデンサマイクロホン
インピーダンス	300Ω	1kΩ終端
感度	約20dB (0dB=1Pa/V)	約-30dB (0dB=1V/Pa)
電源電圧	—	2～5V (1kΩにて給電)
消費電流	—	約200μA

◆ 各種設定[販売店の方へ] (つづき)

保留、◇、代理応答 ボタンの設定内容を変更する

保留、◇、代理応答ボタンの内容は工場出荷時には次のように設定されています。
これを変更することができます。

■ [保留] ボタン ⇨ [再呼] + [フック/転送] + [1] [8]

■ [◇] ボタン ⇨ [再呼] + [8]

■ [代理応答] ボタン ⇨ [再呼] + [1] [1]

割り当て番号について

ワンタッチボタンは01～24番が割り当てられています。これに続いて、保留ボタンが25番、◇ボタンが26番、代理応答ボタンが27番に割り当てられています。つまり、これら3つのボタンもワンタッチボタンの一種です。なお、下記の操作でこれらのボタンを押すと「ワンタッチ××」と、割り当て番号が表示されます。

1 オンフック



[オンフック] ボタンを押す。

内線3000 拡声

2 短縮/登録



[短縮/登録] ボタンを5秒以上押す。

●登録モードになります。

登録 * : 次へ#: 終了
1: 内線番号 2: 信号種
3: オートポーズ 4: ワンタッチ

3 [4]



[4] ボタン(ワンタッチ)を押す。

●初めにワンタッチ1の内容が表示されます。

ワンタッチ01 登録: 戻る
00249441221

4 ◇



変更するボタン(例: [◇])を押す。

ワンタッチ26 登録: 戻る
8 再呼禁止

5 再呼



[再呼] ボタンを押す。

ワンタッチ26 登録: 記憶
再呼禁止

6 フック/転送



[フック/転送] ボタンを押す。

ワンタッチ26 登録: 記憶
H 再呼禁止

7 [1] [2] [3]
[4] [5] [6]
[7] [8] [9]
[0] [10]

番号(例: 10)を押す。

●最大32桁まで登録できます。なお、フッキングは2桁、ポーズは2桁をそれ以外は1桁を消費します。

ワンタッチ26 登録: 記憶
H10 再呼禁止

8 短縮/登録



[短縮/登録] ボタン(記憶)を押す。

ワンタッチ26 登録: 戻る
H10 再呼禁止

9 オンフック



[オンフック] ボタンを押す。

NOTE

保留ボタン、◇ボタン、代理応答ボタンをまったく別の機能ボタンとして使う場合は、その操作と表示内容は次のとおりです。

信号種	操作	表示
DP (20PPS) の場合	• ダイヤル (0 ~ 9) • フッキング (フック / 転送ボタン) • ポーズ (スタック / ポーズボタン : 約3.6秒) • シグナルチェンジ (* ボタン) • 再呼禁止 (再呼ボタン)	0 ~ 9 H — S 再呼禁止
PB の場合	• ダイヤル (0 ~ 9) • *, # ボタン • フッキング (フック / 転送ボタン) • ポーズ (スタック / ポーズボタン : 約3.6秒) • 再呼禁止 (再呼ボタン)	0 ~ 9 *, # H — 再呼禁止

◆ 各種設定[販売店の方へ] (つづき)

特定ボタンの設定内容を初期化する

短縮番号、ワンタッチ、保留、◇、代理応答 ボタンの登録内容はそのまま残して、他の設定内容を工場出荷状態に戻すことができます。

1 オンフック


オンフック ボタンを押す。

内線3000 拡声

2 短縮/登録


短縮/登録 ボタンを5秒以上押す。
●登録モードになります。

登録 *:次へ#:終了
1:内線番号 2:信号種
3:オートボース 4:ワンタッチ

3 

***** ボタン(次へ)を押す。

登録 *:次へ#:終了
1:短縮 2:ワンタッチ削除
3:短縮削除 4:スタック削除

4 

***** ボタン(次へ)を押す。

登録 *:次へ#:終了
1:呼出音 2:ミュートボタン
3:オンフック 4:スタック有無

5 

***** ボタン(次へ)を押す。

登録 *:次へ#:終了
1:初期設定

6 

1 ボタン(初期設定)を押す。

1:次へ*:実行#:戻る
短縮, ワンタッチ以外初期化

7 

***** ボタン(実行)を押す。

登録 *:次へ#:終了
1:初期設定

8 オンフック


オンフック ボタンを押す。

すべてのボタンの設定内容を初期化する

すべてのボタンの設定内容を工場出荷状態に戻すことができます。

1 オンフック



オンフック ボタンを押す。

内線3000 拡声

2 短縮/登録



短縮/登録 ボタンを5秒以上押す。

●登録モードになります。

登録 *:次へ#:終了
1:内線番号 2:信号種
3:オートボース 4:ワンタッチ

3



***** ボタン(次へ)を押す。

登録 *:次へ#:終了
1:短縮 2:ワンタッチ削除
3:短縮削除 4:スタック削除

4



***** ボタン(次へ)を押す。

登録 *:次へ#:終了
1:呼出音 2:ミュートボタン
3:オンフック 4:スタック有無

5



***** ボタン(次へ)を押す。

登録 *:次へ#:終了
1:初期設定

6



1 ボタン(初期設定)を押す。

1:次へ*:実行#:戻る
短縮, ワンタッチ以外初期化

7



1 ボタン(次へ)を押す。

*:実行#:戻る
全てを初期化

8



***** ボタン(実行)を押す。

登録 *:次へ#:終了
1:初期設定

9 オンフック



オンフック ボタンを押す。

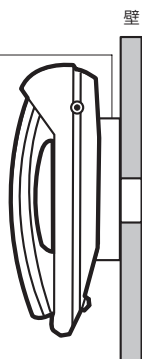
◆ 各種設定[販売店の方へ] (つづき)

電話機を壁掛け式にする

電話機を壁に掛けて使うことができます。

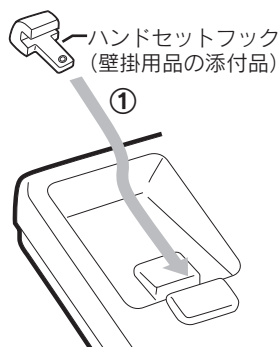
壁掛け用品は別売品です。

品名：HIT-H-WAPA (N)



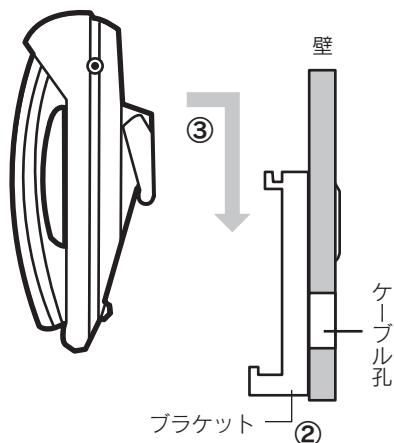
■ 取り付け手順 ■

①ハンドセットフックを電話機のフック
スイッチ部の穴に差し込む。



②ブラケットを2本以上のネジで壁に取り
付ける。

③角度アダプタをたたみ、電話機側のブラ
ケット取り付け溝にブラケットのツメを
合わせ、押し付けながら下にスライド(約
6mm) させる。



- 簡単な取り付け (木ネジなどでの固定) は絶対にしないでください。電話機本体や受話器が落下するなどしてけがの原因となります。
- ケーブル孔をあけた場合はケーブルを通した後に、必ずケーブル孔をふさいでください。室内と壁側内との温度差によって電話機内部に結露が発生し、故障の原因となります。

仕様

型 名	HI-P7
回線の種類	回転ダイヤル回線 (DP : 20PPS) プッシュホン回線 (PB) 兼用
直流抵抗値 (直流回路閉成時)	331Ω/20mA (通話中) 193Ω/20mA (I-USEモジュラージャックの内部直流抵抗値)
呼び出し信号受信中のインピーダンスと静電容量	インピーダンス : 6 kΩ以上 静電容量 : 約 1 μF
ポーズ時間	約3.6秒
フッキング時間	約0.6秒
外形寸法	約178mm(幅)×99mm(高さ)×235mm(奥行き)
質 量	約0.8kg
環境条件	温度 0～40℃、湿度15～80% (結露なきこと)

- 線路の直流抵抗条件によっては、電話機を接続できない場合があります。
- 外部機器を取り付ける場合は、I-USEジャックの内部直流抵抗値も含めて線路の直流抵抗条件を満たす必要があります。

MEMO

MEMO
